

## エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりに努めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

### ■2020年9月

エフエム八ヶ岳9月の番組審議会の議題は、番組「八ヶ岳今昔」(毎週月曜午前9時15分から10時、再放送あり)。1年半続く番組ですが、北杜市内の郷土史研究者であり高福寺住職の水原康道さんに講師となってもらい、八ヶ岳山麓に縄文文化が開花した時代からの郷土史について話を聞いています。今回は「縄文時代の土偶」について聞いていただきました。放送内容について、審議委員6名の主な意見は次の通りです。

- ・縄文土器の出土が多い地域の番組として、大変に価値のある学術番組で、興味を持って聞くことができました。八ヶ岳に暮らす私たちにとって、こうした歴史文化を学ぶ機会を提供する番組はいい企画だと思う。
- ・講師の話し方が説法的であり、理路整然としていて理解しやすく、土偶の役割や破壊のもつ意味、季節とのかかわりなど、その時代の人間の生活との関連性にも触れて分かりやすかった。
- ・縄文時代の土偶についての宗教的観点から、また歴史的観点からのお話に非常に興味が持てた。
- ・我が国の文化の源泉は、縄文・弥生時代にあるともいわれ、どちらかという科学万能に偏りがちな現代人へのある意味で、警鐘ともなる番組であると感じた。
- ・全体を通して興味深く聞き、宗教家のゆっくりとした語り口にほっとさせられた。
- ・全体の構成として、冒頭に土偶の基本的な知識の説明があったほうが、より理解できる番組になるのではないだろうか。
- ・土偶を破壊してから捨てるといったことなど、今まで聞いたり、目にしたりしている「土偶」に関しての考えを覆されたような感じだ。
- ・なぜ、土偶が破壊されるのかを宗教的な観点から、いろいろな例を提示しながらお話しされていたが、感覚的には理解できるが、なかなか難しいと感じた。
- ・仏教的な考えではこうなると思われるお話だと思うが、いろいろな説があるということで理解をしていいのではないだろうか。
- ・いろいろな興味や知識を引き出してくれる知的レベルの高い番組を誇らしく思った。昨今、ドタバタ的な番組が多い中、特に貴重な番組だと思う。
- ・八ヶ岳山麓に縄文時代の多くの土偶が出土していることは知っていたが、こうした宗教観があることに驚き、縄文時代に生きた人々に思いをはせることができた。
- ・縄文時代の土偶の宗教的な意味づけではあるが、宗教に偏った感じでもなく、そういう考えもあるのかといった観点で聞いていた。
- ・知識系の好きなリスナーならこのままでもいいと思うが、私は何か「ハッとすること」を求める傾向にあるので、聞いていて「知識が増えたなあ」ということがより強く認識できるともったい番組だと思う。